

「実社会と接続する学びを通して『自分ごと』になる社会的な自立」を促す教育の実現

【社会的背景】

- ・ 予測困難で変化の激しい時代
- ・ 多様性と包括性が重視される社会
- ・ 持続可能な社会の構築

コミュニティの中で生きていく力の習得

- ①他者への信頼感
- ②社会生活を営む上で不可欠な知識及び技能

【これまでのキャリア教育】

- ・ 9 年間を見通した体系的・系統的なキャリア教育の推進
- ・ 「はちおうじっ子キャリア・パスポート」の活用
- ・ 八王子青年会議所・東京八王子南ロータリークラブ等との連携した職業講話や職場体験活動

☆特に、児童・生徒数の減少が著しい地域において

多様性の理解と尊重 → “個”の自立

「自分はどのように生きていくのか」
→ 何を仕事としていくのか

地域の子どもは、
地域で育てる
という観点から

一定規模の集団の中で（多様性）、自分は何をなし（自立）、
いかに住みやすい環境を作るか（社会の一員）

地域コミュニティの
維持・発展

・ これまで以上に実践的なキャリア教育が必要

・ 児童・生徒が一定規模の集団の中で、互いの多様性を
理解し、尊重し合うことが重要

小学校第 1 学年（義務教育学校第 1 学年）から中学校第 3 学年（義務教育学校第 9 学年）までの系統的な教育を行う

教科等の学習内容を生活経験にひもづけ「生きた知識」にする

一歩進めて

【キャリア教育とは】

- ・ キャリア教育とは、子どもが自分の良さや可能性に気付き、社会と関わりながら、自分らしい将来や生き方を思い描き、未来へ踏み出す力を育む教育であり、自己理解や感情を調整する力、人と協力して社会とつながる力、課題を見付け考えて解決する力、そして将来の目標をもち、進む道を考える力など、社会を生き抜くための「生きる力」を育成することをめざす。

【これまで】

- ・ 進路指導
- ・ 職場体験
- ・ 職業講話

【これから】

「自分はどのように生きていくのか」
「何を仕事としていくのか」

【八王子市の STEAM 教育】

- ・ 各教科で共通する思考の視点や考え方を基にして STEAM（科学・技術・工学・一般教養・数学）の手法を用いて、地域の課題を自ら具体的に解決する教育。